

早稲田大学 スポーツ科学部 小論文 講評

〔総合分析〕

出題形式	課題文読解型
試験時間	90分
特徴・その他	1000字強の課題文を読んだ上で、ドーピングについて考える問題。 600～800字の範囲内で自分の意見をまとめるという点は、旧人間科学部の流れを継承している。

〔大問別講評〕

出題内容	コメント	難易度
ドーピングについての考察	スポーツ関連学部の問題としてはヤマ中のヤマといえる。	標準

〔総合コメント〕

テーマ的には、ヤマ中のヤマであるが、問題は課題文をいかに丁寧に読み取り、それに対応して論じるかである。日頃の問題意識と、読解力、論述力を問う問題であり、こういう問題は受験生が思っている以上に案外大きな差のつくものである。

対策としては、早いうちからスポーツについての問題意識を高め、読解力と論述力アップのための訓練をしておくことである。一番効果的なのは、毎年合格者を多数出しているベテラン講師自らが100%添削・採点してくれる予備校へ通うことである。

ちなみに、早稲田予備校ではそのようなシステムになっている。